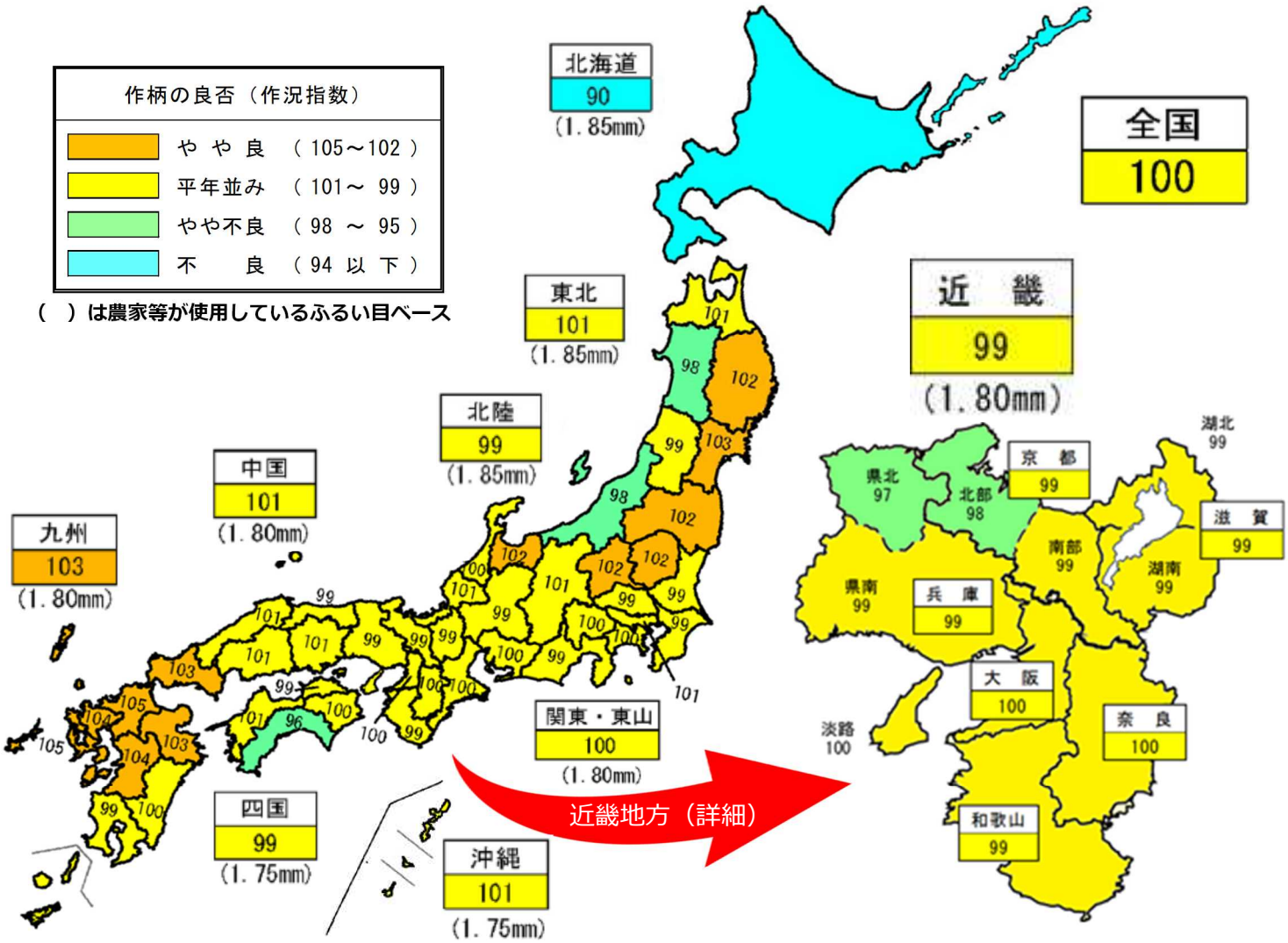
vol.31
2018.10
H-SATT
農林水産省 近畿農政局（兵庫県拠点）

農政局だより@ひょうご

〒650-0024
神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎
TEL:078-331-5924　email:hyogo28_hsatt@kinki.maff.go.jp

平成30年産水稲作柄概況（作況指数・9月15日現在）



平成30年産水稲の作柄（9月15日現在）は、北海道において6月中旬から7月中旬の低温・日照不足の影響により「不良」が見込まれるものの、その他の地域では、田植期以降おおむね天候に恵まれたことにより、新潟県など一部を除き「平年並み」から「やや良」が見込まれます。農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は全国100、近畿99の「平年並み」が見込まれます。

兵庫県における10a当たり予想収量は497kg（前年産に比べ4kg減少）が見込まれます。農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99の「平年並み」が見込まれます。

全国・近畿・兵庫県の10a当たり予想収量及び作況指数

区分	10a当たり予想収量（1.7mm選別）	農家が使用しているふるい目幅で選別（近畿地域は1.80mm）		
		10a当たり予想収量 ①	10a当たり平年収量 ②	作況指数 ③=①/②
	kg	kg	kg	
全国	533	517	519	100
近畿	504	492	497	99
兵庫県	497	485	490	99
県南	498	486	489	99
県北	488	478	493	97
淡路	509	489	488	100

キラリ☆現場にて

祖父から引き継いだ農業を伝えていくために。

稲美町で水稲と施設野菜を中心に生産･販売されている、ゆうたふぁーむ 代表の大西 雄大さん（31歳）にお話を伺いました。

高校を卒業後、医療関係の専門学校へ進学し、接骨院で働いていましたが、専業農家であった祖父が体調を崩したことをきっかけに、農業を継ぐことを決意し、接骨院を退職して、兵庫県立農業大学校で２年間農業の基礎を習得して、24歳で就農し、祖父から農業の実務面も意見を戦わせながら学んで行きました。

現在は、祖母、両親とともに、4人で水稲120a、施設栽培でミニトマト20aと小松菜70a、露地栽培でホウレンソウ20a、スイートコーン20a、ブロッコリーなどを栽培し、小松菜とホウレンソウは兵庫県の安心ブランド、スイートコーンは認証食品を取得して、JAや市場、お米屋さん等に販売しています。

最近の農業では、減農薬栽培は当たり前ですが、露地野菜は、旬を迎えた一番美味しい時期に食べてほしいと旬を意識して栽培しています。今年は、夏の高温や台風の影響で品質も悪かったですが、今は、冬に旬を迎えるホウレンソウの播種の真っ最中です。

今後は、GLOBALG.A.P.認証を取り販売先の信用を得る取り組みを目指したいと考えています。

稲美町でも例外なく担い手が不足している状況で、町外の方が農業を行っている現状もあり、私の地域でも担い手が３人と少なく、地区内に営農組合もないことから、先人が築き上げてきた稲美町の農業をこれからも守り、伝えていくにはどうすれば良いかを地域の若手で知恵を出し合いながらどう守っていくかを考えています。

定植を終えたブロッコリー苗

農業の「働き方改革」実行宣言を募集しています

農林水産省では、農業経営者の方の宣言を紹介する「特設サイト」を開設しました。

農業経営者の方に、生産性が高く、「人」にやさしい職場環境作り（働き方改革）の取り組みについて、目標を立てて宣言をしていただく企画です。

農業経営者から応募された宣言は、「農業の「働き方改革」実行宣言特設サイト」（全国新規就農相談センター内）等で紹介します。会社・農場のwebサイトやSNS、求人情報へのリンクも併せて掲載できますので、農業経営体の魅力発信に役立てていただけます。皆様のご応募お待ちしています。

詳しくは https://be-farmer.jp/hatarakikata/

平成30年秋の農作業安全確認運動実施中！！

農業従事者の高齢化や兼業化が進んだこと等により、機械の操作ミス、慣れや過信による安易な作業が重大な事故を起こし、農業就業人口が減少する中で、農作業による怪我や死亡事故が毎年300人以上で推移しています。

農林水産省では、重点推進テーマ「**まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全**」を掲げ、秋作業が行われる9月～10月を重点期間として、秋の農作業安全確認運動を実施しています。

家族で一からトマト栽培を始めて！！

キラリ☆現場にて

神戸市西区でトマト栽培を中心に生産・販売され、現在、農業青年クラブ連絡協議会事務局長をされている、有田農園の有田 真也さん（32歳）にお話を伺いました。

家は農家では無く、農業との関わりと言えば、小学校の体験学習で土に触れる程度でしたが、平成25年９月に就農して、５年目を迎えました。

就農前は色々と悩んだ時期もありましたが、父の勧めで神戸市の楽農生活センターで１年間勉強し、農業の基礎的な技術を習得、本格的に農業を志し、ちょうど父親も定年退職したことから、両親と3人で農業を始めました。

楽農生活センターでは、学生時代のように楽しく作物を育て農業を学ぶことができましたが、実際に就農して農業で生活できるか本当に不安でした。

現在の経営は、農地バンクを通じ購入した農地13a、4棟のパイプハウスでミニトマト、ミディトマトを年間２作、養液土耕栽培で生産しており、販売は、主にJAとしあわせの村の直売所や、スーパーマーケットに販売しています。

自分で育てたトマトを消費者の皆さんから、「美味しい」とほめてもらえる事は嬉しいですし、自身で栽培方法を考え栽培し、良いトマトが収穫できた時の喜びは大きいです。

将来は、一年を通じて収穫、品質を安定させるための環境制御型のハウスを建設して規模を拡大もしたいですし、また、自分が何もないところから新規就農したように、農業を志して勉強している方を青年農業クラブの活動を通じて助けていけるような立場になりたいと考えています。

GAP情報サイト「Goodな農業！GAP-info」を公開

農林水産省では、GAPについて一般消費者等に広く知っていただくため、GAPに関する情報発信を強化した情報サイト「Goodな農業！GAP-info」を公開しました。

この情報サイトでは、（1） 各都道府県におけるGAP認証の取組状況、（2） GAPに取り組んで生産された農産物に触れていただけるような関連イベントの情報、などを掲載し、各地におけるGAPに関する取り組みを紹介しています。

詳しくは http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap-info.html

2018年漁業センサスにご協力をお願いします

平成30年11月１日現在（流通加工調査は平成31年１月１日現在）で「2018年漁業センサス」を実施します。

「漁業センサス」は、我が国漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業などの漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握することを目的に、統計法に基づいて5年ごとに行う大規模な調査です。

10月中旬（流通加工調査は1月上旬）から調査員が漁業関係者の方々を訪問しますので、調査票に漁業の操業状況などの記入をお願いします。

なお、インターネットを利用したオンラインでの回答も可能です。

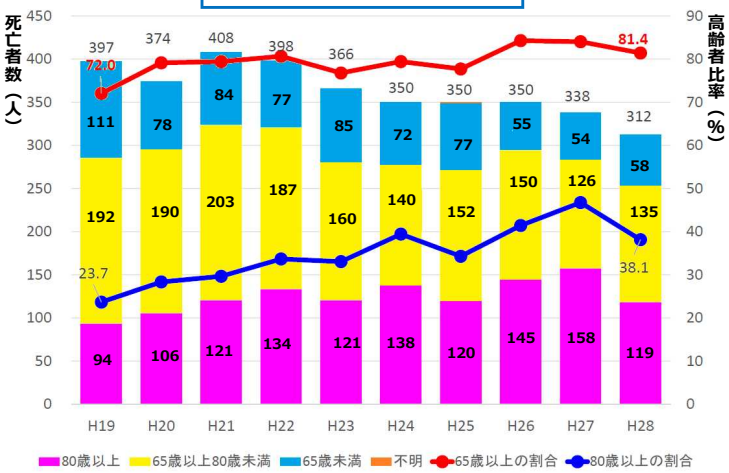
「漁業センサス」は、漁業の現状を知り将来を考えるための大切な調査です。ご協力をお願いします。

連載!! シリーズGAP ⑥

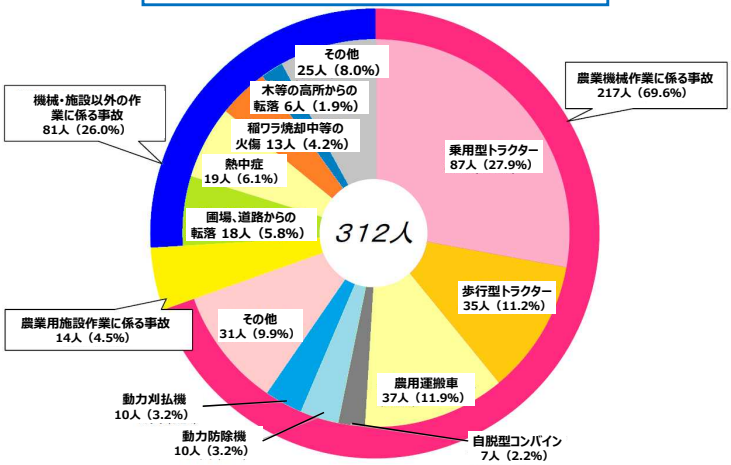
農作業事故の現状とGAPによる未然防止

○農作業事故の現状と要因

農作業死亡事故の発生状況



要因別の死亡事故発生状況（平成28年）



グラフ出展（農林水産省ホームページ）：http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/index-52.pdf

○労働安全を確保するための農場管理

「GAPの共通基盤に関するガイドライン（野菜）」に基づくポイント

⑴危険作業等の把握と安全マニュアルの作成

・農場内の危険性の高い機械作業や作業環境、危険箇所の把握

・安全マニュアルの作成を周知

⑵能力に応じた作業の分担

・従業員の能力に応じた適切な作業分担

・未熟な従事者に対する指導や教育訓練

⑶作業時の服装および保護具の着用

・機械に巻き込まれないような服装で作業

・ヘルメット、保護メガネ、防塵マスク、安全靴等の着用

⑷機械等の導入・使用

・機械導入時の形式検査合格証票等の有無を確認

・使用前点検、安全装置等の確認

⑸農薬、燃料等の管理

・農薬の保管は、冷涼・乾燥した場所で保管

・燃料の保管は火気厳禁

・部外者の立ち入り禁止

⑹事故後の備え

・労働者災害補償保険の加入

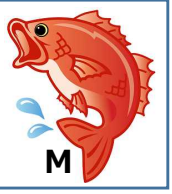
・任意保険の加入

次回は「団体認証と個別認証の違い」をお届けします！

編集後記

暑い夏も過ぎ、季節は秋となりました。秋と言えば、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋などと申しますが、皆様は何を思い浮かべるでしょうか？？

私は磯釣り！！今年もいよいよシーズンイン。磯に上がり広い海を眺めると本当に気持ちいい。そして釣った魚を美味しく食べる･･･あっ、食欲の秋かも.....



M

地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見･ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL：078-331-5924　FAX：078-331-5177